

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151	FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321	FAX0554-62-3322

晩秋の候、貴社益々ご発展のこととお慶び申し上げます。

気が付けば、本年も残り2ヶ月を切る事となりました。世界が注目する中アメリカ大統領がいよいよ決定します。ヒラリー氏、トランプ氏どちらになっても世界経済の状況は厳しいままと思います。今出来る事を考え、残り2ヶ月を頑張っていきたいと思ひます。

今回は、弊社でも取り扱っております**樹脂材料**についてご報告させていただきます。

(営業部リーダー 塚原 佳由)

<編集者>
 塚原 佳由
 望月 博隆
 村松 貴三
 赤木 隆平
 山田 幸平

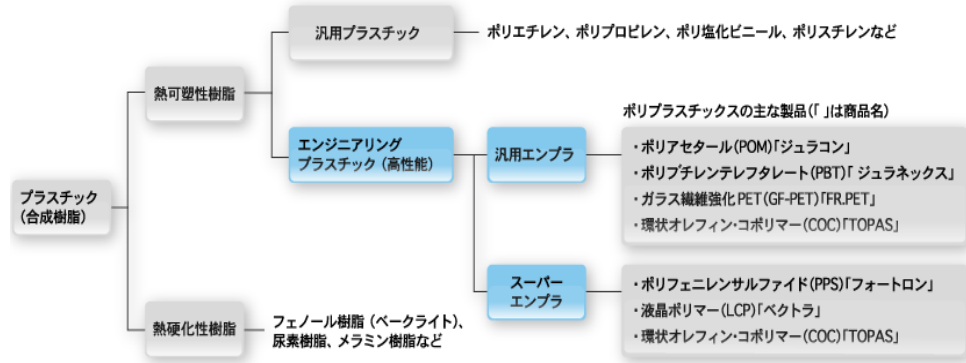
鋼種 Q & A ~ 樹脂について ~

樹脂材料も色々と種類がありますが、代表的に使われているのが「**ジュラコン**」または「**POM**」です。**ジュラコン**とはポリプラスチック株式会社の登録商標であり、ポリアセタール樹脂 (polyacetal, polyoxymethylene) 記号では**POM**と呼ばれています。

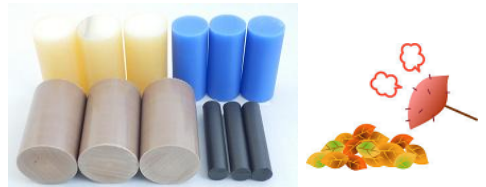
(色) 白色と黒色がありますが、用途により色分けをされています。

(用途) 家電、電気、電子部品、自動車パネルなどの内装部品、文具、雑貨類、家具部材、家庭生活用品類、プラスチック模型など幅広く使用されております。エンジニアプラスチック (エンブラ) では高い強度と電氣的絶縁性、耐熱性自己潤滑性が特徴です。

プラスチック素材の分類と特徴



その他では、試作品などに適応なABC材、安価な塩ビ材、透明なアクリル材、アクリルより強いポリカーボネート材、紙繊維が入った紙ベーク材、成形樹脂より特殊なMCナイロン等当社でも取り扱っておりますのでご相談下さい。



★社長のワンポイント★

毎年山梨県機械電子工業会主催の山梨テクノメッセICTメッセ2016がアイメッセ山梨で11月10・11・12日と開催される。どの地域においても工業の展示会は主要な展示会で特に山梨は鋳工業生産で県内産業を牽引している部分で重要な役割を担っている。しかし、主要産業といっても世界の潮流というものは激流に近いほど荒くなっています。半導体という市場はIoT、自動運転で牽引していると言っても山梨に大きく影響はほとんど無い状態。宇宙航空産業、医療産業と言ってもごく一部の大手と協力工場。地域産業というような事を言いながらこれと言って良い物が育っていないのが、山梨の製造業の領域であります。隣の静岡県を見てみると、農水産業を中心とした省力機器の製造メーカー、協力工場が多く水産に関しては雇用の面でも大きく貢献しており、海外への輸出という部分海岸、港がある分生産物を容易に輸出出来る手段があります。静岡空港に関して利便性が良くなっており、出来たて取れたてをアジア諸国に輸出出来るルートもあります。産業を支えるという点で比較すると、物流・生産そして製造を助ける協力工場の充実と言う点でやはり静岡市場に関して山梨はしっかり見据えた動きをしていかなければならないと思っております。規模が違うと言う事だと・・・11月に縁あって静岡に商談会に行く予定であります。山梨という市場が交通の便そして災害の面でいかに有利に協力出来るのかをお伝え出来ればと思っております。山梨の製造業の復活を願って・・・

★国中エリア 塚原佳由★

10月は9月と比べ少し落ち着いていたように思います。全体的に見てみると、企業の稼働状況に大きな差が出て来ている様にも感じます。半導体関係では依然として高稼働で動いていますが、1次下請け止まりの状況は変わらずのようです。県外の半導体関係の仕事も好調のままですが、細かい精密部品の仕事が多いと聞いています。車関係は変わらず高稼働をキープしており、安定した稼働が続いております。県外の材料関係も稼働が上がって来ており、安定した稼働に戻りつつあるようです。機械メーカーは依然として厳しい状況が続いており、どこのメーカーも模索している状態は変わっていません。県外の材料屋さんにもお話を伺いますが山梨、長野は非常に厳しいと聞きます。お客様の声で従来のやり方や考え方のままでは衰退していかなくてはならないと聞きます。従来の慣習にとらわれず、時代の変化に対応出来るように私達も変化をして行かなくてはならないと思ひます。今後も皆様にお伝え出来る情報を集め、時代の変化に敏感に行動したいと思ひます。

★郡内エリア 望月博隆★

朝と昼の気温差がかなり出てきました。体調管理に注意してください。郡内の動向ですが、8月とくらべて9月は稼働数あり動きのには8月よりよかったです。しかし、依然として仕事量は変わらないのが現状です。10月に入り少しは変化があるかと期待しましたがあまり変化が感じられませんでした。工作機械メーカーに関して、F社はロボット系が順調ですがMC系は以前厳しいようです。ただ、F社ではロボット系の生産が筑波に一部移管する事で人事異動などがあるそうです。この生産移動は災害対策とのこと。M社において、仕事量は変わらずとの情報です。半導体関係では、T社において一次下請けまでが仕事量あり、その下の協力工場まで仕事量は少ないそうです。郡内における大手半導体関係は多少の動きがあるものの外注まではあまりまわっていないのが現状のようです。板金系は忙しいと聞いております。自動車関係のトラック系は仕事量が減ってきているそうです。これは時期(秋から冬)的のようです。乗用車関係は新車系の部品が好調でとても忙しいそうです。ホンダ、日産とも良いとの事。10月はさらに減速感があり厳しい状況になる予感があります。いろいろとお客様の所に訪問していますが、厳しいコメントが多く感じられます。今後の動向を見て皆様に報告していきたいと思ひます。

★上野原エリア 山田幸平★

前月に比べると多少忙しかったお客様が増えてきたように思います。トラック関係はほぼ横ばい状況のようですが、半導体関係は少し増加傾向で、鉄・ステンレスも少しづつはありますが、仕事量が回っているとの情報を頂きました。医療機関は10月後半あたりから調整がひと段落して、動きが戻ってきているようです。家電関係は厳しい状況が続いているとの話を伺いました。東京・埼玉・神奈川方面のお客様は多少ではありますが増加傾向のようです。お問い合わせを頂いたり、急ぎの注文が有りました。しかし、変わらず単発や短納期の仕事が出回っているとのことでした。また、既存のリポート品が戻りだしてきているとのお話や、新しい案件のお話なども伺いました。しかし全体的に製造業には厳しい状況が続いております。そんな中、工場増設や新機械導入など色々な角度からアプローチされているお客様もおります。今年度もあと少しですが、しっかりと動向を見てご報告して行きたいと思ひます。

